

SINCE 1889



Yamato

KOFLOC  
Kyoto

# 窒素ガス発生装置

## ポンベ交換不要！コスト削減効果で導入 ユーザーが続々と増えています！



窒素ガス発生装置はスイッチ一つで高純度のガスを供給可能です。大気を原料としているため、ガスコストが安価です。ボタンを押すだけなので、どなたでも簡単に運用できます。更にガスボンベにまつわる様々な手間から解放され、人的コスト削減にもつながります。そのため窒素ガス発生装置を導入しているケースが増えてきています。ここでは一例としてヤマト科学ブランド製品や分析装置の接続先をご紹介します。

### 窒素ガス発生装置との接続例

※推奨純度・流量は、お客様の要求される仕様により異なります。

#### 01 イナートオープン 無酸化雰囲気

推奨純度 99~99.999%  
推奨流量 N<sub>2</sub> ~50NL/min



#### 02 電気炉・ マッフル炉

推奨純度 99~99.999%  
推奨流量 N<sub>2</sub> ~20NL/min



#### 03 クリーンオープン

推奨純度 99~99.99%  
推奨流量 N<sub>2</sub> ~30NL/min



#### 04 プラズマ装置

推奨純度 99.9~99.99%  
推奨流量 N<sub>2</sub> ~50NL/min



#### 05 ヒュームフード

推奨純度 設備仕様により  
推奨流量 N<sub>2</sub> 異なります。



#### 06 グローブボックス

推奨純度 設備仕様により  
推奨流量 N<sub>2</sub> 異なります。



#### 07 FTIR

推奨純度 99.99%  
推奨流量 N<sub>2</sub> 1.2~5.5NL/min



#### 08 示差走査熱量計 (DSC)

推奨純度 99.99%  
推奨流量 N<sub>2</sub> 1.2~5.5NL/min



## ヤマト科学株式会社

## 窒素ガス発生装置

	スタンダード	超小型タイプ	小型タイプ	中型タイプ
	NF300	Mini-cubeシリーズ	Mシリーズ	N2 IMPACT II シリーズ
				
	露点 -60℃以下を確保。オリジナルモデルでブランド製品との親和性が高い。	W310×D392×H310mmの業界最小モデル。ラボにマッチするデザイン。	マルチレイアウトパッケージ採用で、設置レイアウトが自由。	工程や製造ラインで使用可能。オイルフリーコンプレッサ内蔵。
窒素発生量*1	2~10.0NL/min	0.5~8NL/min	1.5~33NL/min	46~286NL/min
純度*1	99~99.99%	95~99.999%	95~99.999%	99~99.99%
接続径	Rc1/4 φ6ワンタッチ継手付	Rc1/8	Rc1/4	Rc1/2
サイズ	W400×D400×H850mm	W310×D392×H310mm	W390×D600×H620mm/ W430×D700×H800mm	W780×D840×H1590mm/ W1320×D1000×H1695mm
電源(50/60Hz)	AC100V 1φ	AC100~240V 1φ	AC100V 1φ	AC200V 3φ

各製品の詳細はこちら



\*1 窒素発生量と純度の見方。NF300を例として窒素発生量2NL/min時の純度は99.99%、10.0NL/min時の純度は99%となります。

## 窒素ガス発生装置についてQ&amp;A

## Q 窒素ポンベとのランニングコストの比較について教えてください。

ガス発生装置は、空気からガスを生成するため、ガスポンベ等を購入する必要がなく、原料費がかかりません。主に電気代と定期的なメンテナンス費用のみで生成できるため、ランニングコストの削減効果が見込めます。

供給方法	単価 (¥/Nm <sup>3</sup> , 税抜)				
	99.999%	99.99%	99.9%	99%	95%
窒素ガス発生装置(メンテナンス代+電気代で算出)*1	¥58.2	¥20.8	¥15.7	¥11.2	¥9.39
N <sub>2</sub> ポンベ	—		¥250~500		

\*1 N2 IMPACTシリーズ2.2kWタイプを24時間365日稼働させた場合のガス単価です。



## 注意

本カタログに掲載された製品の仕様・性能数値は、一般的な使用条件における、ユーザーガイドとして提示しています。ご使用の際は、取扱説明書の内容をご理解いただき、正しくご使用ください。取扱説明書の記載使用条件を外れて使用され、人的・物的損害が発生しても、当社はその責任を負いかねますのでご注意ください。

●仕様および外観、価格は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。●製品カラーは、撮影・印刷インキの関係で実際の色と異なって見えることがあります。●価格には、消費税が含まれておりません。●記載されている会社名、製品名およびロゴは、当社または各社の商標および登録商標です。本文中に「TM」、「®」は記載していません。

SINCE 1889



科学・技術の未来のために

## ヤマト科学株式会社

本社 〒104-6136 東京都中央区晴海1-8-11晴海トリトンスクエアY棟36階

お客様総合サービスセンター

0120-405-525

受付時間 9:00~12:00、13:00~17:00 土日祝除く

ヤマト科学ウェブサイト

www.yamato-net.co.jp

メールでのお問い合わせは、ヤマト科学ウェブサイトより受付しております



お問い合わせは、信用とサービスの行き届いた当店へ

Cat.No: C1446A

## &lt;国内営業・サービス拠点&gt;

札幌 (011)204-6780 仙台 (022)216-5701 前橋 (027)280-4650 筑波 (029)852-3411 北関東 (048)642-2569 千葉 (043)241-7085 サンフランシスコ 重慶 上海  
 東京 (03)5827-3525 東京西 (042)352-3211 川崎 (044)540-3751 横浜 (045)828-1631 厚木 (046)224-6911 長野 (026)291-6001 北京 広州 西安  
 静岡 (054)653-0510 名古屋 (052)202-3051 北陸 (076)443-8603 京滋 (075)343-7201 関西 (06)6101-3112 広島 (082)221-0921 東莞 ケルン  
 山口 (083)974-4760 福岡 (092)263-7550

Copyright © Yamato Scientific Co., Ltd. All Rights Reserved.

このカタログの記載内容は2024年1月現在のものです。